

「お年紙」授業記録(1場面①~⑬段落)

R. 4. 12. 14. 15 実践分

清瀬小 1-2年3名
愛知 後藤ひとみ

1, 2 教材解釈と目標(12/11現在)

別紙「解釈と展開に向け」参照

3 本時に至るまでと、主な展開

<12月12日 ④時>

・ ④まくんの悲しみの理由をほつきらせておく。

→ ほしくて仕方ない手紙を、一度ももらったことがないから

・ ④えんくんまで悲しい気分になるおかしさを確認しつつ、理由を
考えることを学級課題とする。

はじめのイメージ < ① 親友がかわいそうになった... 2年1人 → 0人
② ⑮「だれも...」の言葉と言ったから... 1年2人 → 3人

①は、「かわいそうであって、かなしいのとは違う」の1年男児の言葉に
早々に⑮段落を理由と解決するが、深く落ちていないと担任は
判断。教師のやさぶりに負けない思考力の強い子を目指す。

<12月13日 ⑤時>

・ 追求課題④まで悲しい気分になったわけについてかわいそう説が
再び浮上。

< ① ⑮のことを言われたから 2人 → 3人
② ④のことを言って④がかわいそうに思えた 1人 → 0人

子どもの力で②を消していく。⑮は「おこっている」(大事な
お年紙に「なんか」をつける程、いかりのスイッチが入っている主張。

・ ④のいかりは、④のおこられたような「一度しかない」がきっかけだと
見つけ、「ああ、一度も」から「おこっている」というイメージで進む。

・ 「おこっている」の文章表現はないが「なんか」と「んだ」の強調
表現を理由に、⑮の段落が理由だと決着する。が、「こぼしの言い
方や④のようすがおこっていたからだ」のイメージに執着する。

<12月14日 ⑥時>

◎ 「かなしい」のイメージが浅いと判断。例文を使って、「かなしい」と
「かわいそう」の違いを明確にする。

→ 「かわいそう」は自分以外の人、「かなしい」は自分がショック
だったということ。

・ 「おこられた方が悲しい」が理由なら、「どうして、どの「こぼし」の何が
対立

< ① ようす 2人 → 0人
② こぼし 1人 → 3人

こぼし以外の顔つき、態度は表現されていない。また、④の言った言葉は
関係しているで合意する。

◎ ⑮の中のどの文でかなしくなったか。

迷いながらも、子どもたちの力で、①文へ到達。

< ① 1文 1人 → 3人
② 2文 0人 (教師がやさぶりに入るが、切れ、2人に
③ 3文 2人 → 0人 (ほられた。)

<12月15日 ⑦時>

◎ ⑮の一文のどのこぼしでかなしくなったのか。

< ① なんか 1人 → 0人
② んだ
③ だれも 2人 → 3人 (2人にしぼる。)

前時、自分の考えの理由を述べ合ひ、生産性のないだらだらとした
話し合いにわたったので、「これでは悲しくならない、おかしなのは
ないか」という方法も用意する。

◎ 「だれも」はどんな時に使うのか。例文を子どもたちに考えさせた
後、教師が用意していたものを示す。

◎ 「だれも」とは、関係するだれかに言ってる。だれもに自分が入っていると
思った、というイメージが生まれ、「だれも」のこぼしの強さを発見。

・ 音読に生かして⑮段落まで音読を聞き合う。

4. 授業記録 < 12月14日 中盤から >

* 「なんか」がついてるから、ようすでなくて言葉だとおこっているようすより、⑮の言葉だと、子どもには解決、納得。(しかし、欲しくてたまらないお手紙に「なんか」をつけた異和感に執着)
(18:40~)

T1 先生もね、みんなが言うように様子より言葉だと思う。この(⑮段落)前までは、かわいそうではあって思っていたかもしれないけど、この時に(⑮段落)で何かすごいショックなことが起きたのよ。(C 大ぼくほつ)飼っている猫ちゃんが死んじゃうような、もう悲しい絶望的、どうしよう帰ってこない、というふうなショックなことが...
この中に! どこだろうって探してみない?

- C1 はい! 探してみたい!
- T2 どの言葉だろう。探してみたい?
- C2 「お手紙なんか」の
- C3 「なんか」だと思う (C なんか...)
- T3 ね、考えてよ。(板書) ⑮の中の、まず、どの文かな。
- C4 絶対「なんか」でしょ。(C 絶対)
- T4 ⑮は決定したでしょ。それで言葉も決定した! おこっていることもみんな一緒!

⑮の中のどの文でかわしくなったのか

- ① 1文目 - 1人
- ② 2文目 - 0人 (教師)
- ③ 3文目 - 2人

(21:17)

- T5 2文目は切っているかな。(C はい) 3つもあるとややこしいから...おほん? 「空っぽさ」とか「毎日」とか、気になっていたけど、切っている? (C あ、でも)
- C5 ひとみ先生は どうしたらいいと思いますか?
- T6 は、は、は... そうか... 切っている? (C いいです!)

* 支援 ○ 気づき
△ 問題点

○ 本時展開の始めに「のら猫と、飼っている猫が道路で死んでしまった」例を挙げ、「かわいそう」と「かなしい」の違いを明確にしておいたため、悲しいのイメージが共有できていて良かった。

△ 猫の死と同等では無いので、言いすぎ

おこっている
* 「様子」でなく「言葉」と確認

○ 「なんか」に執着していたはずが、3文目に心変わり

* 教師のゆさぶりに負けたい子を作るために、あえて2文目を教師が主張してみる。

VTR①
(21:35~)

- T7 切っている理由を言って。
- C6 四角に囲っているのが(前時以前に見つめたわざと入れた気にさせることば)少ししかないので。(T もうちょっと)
- T8 かわいそうじゃん。せっかく見つけたのに。(2文目) 言って
- C7 「空っぽ」って言葉とか、あまり悲しくない感じ(T 誰か?)
- C8 え、かえるくんか
- T9 かえるくんには、悲しいことじゃないと
- C9 そういう感じじゃなくて、お手紙に「なんか」とか、「お手紙を待っているのは悲しい」とか、お手紙に「なんか」とか関係していることが悲しいんだと思う。
- T10 「空っぽ」って、お手紙に「なんか」とか関係してるよ。お手紙じゃなくて「空っぽ」なんだよ。
- C10 だけど、「空っぽさ」では、自分は悲しくならない。
- T11 あー別に悲しくならない。
- C11 それを言うなら「かわいそう」だと思う。
- T12 あー、これはかわいそうであって、かなしいは(C かな)
- C12 切ってもいいです!
- T13 じゃあ、切るか。(C いえー) まどわさんには先生に。(C たそ〜) じゃあ、今度3人でやるよ。①か③か、一番衝撃的に悲しいのは。
- C13 ①番だと思う人(— 1人)
- C14 (女子2人 迷いながら) やっぴりやる。
- C15 (1年女子②に手上げ、切れた点を指摘され下す)
- C16 ③番だと思う人(— 1人) あれ、何ぞ?
- T14 人間変わるからね。(3文目2人だったのに、いつの間にか変わっていた。)
- C17 あー①番でもあるかもしれない。
- T15 変わった人に理由聞いてみらん。(C なんぞ!?)
- C18 ③番もあるけど、大事は衝撃的な言葉がないから。

* 「なんか」にこだわる場合の布石にすればいいと思ひ、かえるくんについて悲しみではないことを伝える。

* 2年生は慣れているからと妥協してきたが、教師がつかむ。

△ 自分の感覚を言っているだけだが、今回はこのくらいで終えよう。(2年生のフコミ)

○ 偶然、「かわいそう」との違いがはっきりする。

○ 女子2人の優柔不断さ、変わり身の速さ、表れる。

(24:25~)

C19 ①の「たれもお手紙なんか」とか、わかんないけど...

T16 わかんないけど.. (C T=ぶん) たぶん... (C あ~) あ~

⑥くんは聞いてみろん、なんで③でなくて①か

C20 なんで③でなくて①なの?

C21 (首を横にふる)(T理由がない)それは、なんか、「なんか」とか「んだ」とか「くれた」とか、ことばが、ちよと、なんか

T17 ちよと、なんか

C22 ①番、①番です。

C23 なんで、なんで変わったの?

C24 たれも、お手紙、なんかって... なんかってついでだから悲しそうに「そうなんだ」って心の中で

T18 「なんか」というのは、なんで悲しくなるの?

C25 あまり使わないことば。

C26 強いことば (T あー)

C27 確かに強いよね。

T19 ああ、昨日言ってるね。「なんか」なんて使わない、「なんか」はどういう時に使うの? おまえなんか、あ、ちよととか?

C28 例えば、お母さんにおこられたときに おまえなんか外へ出ろ~

T20 ねえ、お母さんなんか、そんなこと言わなくて~とか。ほんとうは、お手紙大事なの? 大事じゃないの? (C 大事!) 大事なのは「なんか」なんて言ってるのね。だから悲しくなったの? お手紙に「なんか」つけたから

C29 かえくんが... かえくんが お手紙を好きだったから?

T21 どこに書いてあるのか聞いてみたら?

C30 どこに書いてあるの -

T22 はい。そうや、て言っておくと、みんなかしくならんから。じゃあ解決できんじゃん、これ。

C31 なぜ③と思うのかは、「お手紙がこなくてかたないのは、お手紙を待っているのは ぶつうは楽しいのに、すこいやは悲しい感じになているのが、ちよと(Tちよと) 悲しいんだと思う。

※交換
△問題点
○気づき

△主張の理由を言えず、
また、空中戦にたて
いる?

△子どもに話し合いを任せたいが、ここではたのたのではないか。

△「そうなんだ」は かわい
そうは気持ちから生ま
れることを引き出せば
よかった。

※「なんか」にこだわる
気持ちを受け止めつつ
消化させようと思った。

△ここで、「かえくんなんか」と言われた訳でなく、対象は「お手紙」であることを伝えてほしいよかつが、③文へ流れていきそうで教師迷う。

(27:44~)

C32 たったらさ、どこでさ、お手紙は悲しいとか書いてあるの?

C33 悲しいのはそのためのさ、のところがよ。(C え?)
そこで、悲しいか、うれしいか、楽しいか 分かった気がする。

C34 あー

T23 ん? この悲しいのは、かえくんが悲しいの? かまくんが悲しいの?

C35 かまくん

T24 かまくんが悲しいのが、ここ(③文目)分かったから、かえくんも悲しくなったということ? (C はい) いいのみんな。(C ちやう)

T25 ちよと 言って、はじめて分かったの? ここ?

C36 悲しいのが分かった場所は、2ヶ所くらいあるか.. ⑥の「悲しい時なんだ」(T あー)

C37 「ふしあわせ」とか (T あーここでも分かってるね)

T26 フタリ、ここで悲しくなるのは分かってるよね (C はい)
その前も、「かたしそう」にすわってTって書いてあるよね。

C38 じゃあ、なんで①Tと思うの? (T そうそう、自分から言ってる)

C39 「一度もか」って書いてあるところから、一度ももらってないから

C40 ん?

T27 「ああ、一度も」じゃあ⑬じゃない? ここでかえくんも悲しくなったってこと?

C41 でも、⑮と⑬は (C ここではかたしそうだから)

T ないか、くん。⑮

C42 ⑮と⑬は、心の中ではつたがらってるんじゃない。

C43 あっそうか。

T28 つたがらってるんだよね、「ああ、一度も。」

C44 だから、あそこ(⑬と⑮)つたがらちよと、いいじゃん。(VTR② 0:00~)

T29 そう、つたがらいいのに、わざとはたしてあるじゃんね。これ難しいから教えておくれ、「ああ」の後、点でもいいでしょ。でも、「ああ。」(C おこってるかんじ)
先生も そう思う。おこってるでしょ。「ああ。」「一度も。」
「たれも、ほかに、お手紙なんか」続けておこってる。

※ かまくんの悲しさは前に分かってる。新情報ではないとに子どもたちで気づかせたいと思った。

△ かまくんの悲しみが再浮上する子がいる。今はかえくんの悲しみのはず。

△ 「なんか」という「わけ」の言葉の...方(おこっている)が、悲しみの理由なら、感情が連動している⑬の「ああ、一度も」も理由に出てもふしぎではない。

○ 結果的には、おこっている感情は⑬からと出てくると共通理解できた。

△ すっきりしない話し合いに、させてあげた。

(0:37)
 C45 ①に変わります。(なんで?) ぶつうは、「ああ、一度も。」ってぶつうは点とかつなげる書き方なのに「」で止めたい気がする。「ああ、って、おこらなければ、そこで丸はつけない。そこで おこって。一度もかいてかえくんは聞いたのに、「ああ、一度も」って おこるから、かえくんは悲しくなった。

- C46 うーん、少し悲しくなってる
- C47 ⑮で本気で悲しくなった。

(5:55)
 T30 じゃあ、これ(⑬「ああ、一度も」)切るよ。(⑮)でいいわ。(Cはい) ⑮の中の1文目だ、という人が3人いるけど、これ本当?(Cはい) これが強いの?(Cはい) 本当? 先生が2文目だ3文目だ、って言っても、1文目が強い?(Cはい!!)

C48 まよわないです。先生、まちがってます。(Tふん)
 T31 おそれいりませへ。先生もそう思います。1文目が強いと思えます。この1文目の中に宝物がかくされていると私も思っています。感心しました。みんなの強い気持ちを聞いて、びっくりしました。だけど、どれが強いのかは、まだ分らないから、明日やう、こまごまのり着いたね。お城でいうと、もう頂上近いとうねえ、どこにうね。もう逃げらたよ、みんな、こまごま、頂上近くまで来たんだから。

C49 どこ下3う
 C50 でも、そこで⑥と⑩に戻っちゃうと、階段からピュー。
 T32 宝物候補は、これか(たれも)これか(なんか)、これか(んだ)... どれも大切と思うよ。でも、本当の宝物はどれかよーって明日、かんはるか。また、先生にまどわされないように。

C51 先生の言ってることは逆に反対かもしれない。(T分からん)
 C52 先生が言ってることが正しいかもしれない。
 T33 分かれ問題、対立して言ってるかんはるきで、明日もかんはるきしよう。

この後
 * ⑬から悲しくなったのかはっきりしておく。
 ⑬からいかりはあがるが、決定的に悲しくさせたのは、⑮にある。

△ ⑬と⑮の連動を子どもたちが見つけたのに、拡大させられず。

* 遠足で苦労して登った頂上からの景色は、共通の宝物経験。子ども達の経験から入りやすいことばを使う。

○ 過去に気がなっ? 団員がB紙のことばは生かせる。

< 12月15日 >

⑮の1文目のどのことばでかなしくなったのか

T34 (追求課題を確認した後、1文目を板書)
 C53 「なんか」だと思ってる、など口々に。
 * この後、前時に獲得したイメージ「⑬から おこる」を音読で確認。「一度もかいて」を音読してもらい、どんな風に読んだのか、
 (4:00~) たずねる。

「はては、はい」「ほんとに?」「びっくり」など出る。再音読。
 T35 そうだよ。一度言ってるのに、もう一回聞くなんて失礼だし、びっくりするよ。そうしたら、がまくんがおこっちゃった。さあ、がまくんになつてよ。

C54 (⑬と⑮の1文目をずっとおこる音読)
 T36 ああ、そのくらいおこったかもしれないね。そのくらい失礼なことを言ってしまった。さあ、おこってるね。この中で、さあ、かえくんはどのことばで悲しい気分になったでしょうか。

- ① なんか - 3人
- ② んだ - 0人
- ③ たれも - 0人

T37 じゃあ、これで解決? どうしてそう思ったの? みんな。
 C55 お手紙はほしいのに、いらないって言った。いらない!の上
 T38 「いらない!」って言うと、かえくん悲しくなるんだね、なんで?
 C56 ...

T39 かえくんが出したお手紙じはないんでしょ(Cはい) まだ出してないよ。お手紙なんていらない!って言ったなら、なんで悲しくなるわけ?
 C57 別のかもしれない(Tほう)でも、「なんか」が一番あやしい。
 T40 これか、みんな、強い強いつて、昨日言ってたよ。 (Cはい) 強い強いつて何? 言い方が強いつてこと? ことばの意味が強いのか、どっち?

C58 ことばの意味 (Cはいも)

○ 単元を通して学んだお手紙がほしくてほしくない大事な物のイメージから「なんか」説は強く出る。
 * 「なんか」以外の目を向けさせるため。

(7:28~)

T41 お手紙に「なんか」つけちゃうなんておかしいことね。
なるほどね。ほかにはないか。

C59 「んだ」 (C なんだ) (T いいね)

C60 強い感じがする。

T42 強いよね、決めつけてる「お手紙なんかくれたらいいんだ」

C61 だれもだと思ふ (C ああ あね)

T43 新しいの出てきたね。(C なんだ)

C62 一人もくれたことがないって感じだから (C ああ) 本当は
一人くらい来るのに、誰も一人も来てない。

C63 賛成です。③ だと思ふ

① なんか 1人
② んだ
③ だれも 2人

C64 がくくんはなんで①なの (T そうなの)

C65 それはね、一番あやしい気がする (C どうして?)
なんか... 気がする。(C なんだ あやしい 気がする?)

T44 気がする、ではね (C もうちょっと言ってみて) (T そうなの)

C66 うーん、気にはるけど、わからない。

T45 だれもの人に逆に理由聞いてみて (C なんだ だれも?)

C67 一人もくれたことなくて、普通は、小さい頃来るとは

C68 でもさ、だれも、強いには強いけど、「だれか」でも
いいんじゃないかな。

C69 だれか、お手紙くれたこと... なんか変 (C たしかに)

C70 だれもの方が強い (だれかより)

C71 ぶつうは一人、二人、三人くらいは来るけど、一人も来な
から悲しいと思ふ。

T46 言い方が強いからだ、という人あるよね。「だれも!」「だれも」
「死ね!」「死ね」(C 死ねって何?)「死んでほえ」
こと。聞きたいんだけど、死んでほえて言われたら、
弱く言われても悲しくなるよ。言い方の強い弱い

△ かえりくんが「おかしい」
とか「おこってる、こわい」
なら分かるが、と
言て、他のことばに目を
向けさせたかった。

※ 「他にはないか」
は用意していた。

○ 「だれも」の発見。

○ 前時の自分たちで
解決しようとした
経験が生きている。

△ 空中戦が長過ぎた。
※ 早めに教員が入るべき。

○ 発言が少ない
1年女子も入れた。
(だれかとだれもの
違い)

△ 悲しんでいるのはがまん

(12:09~)

じゃなくて、ことばの意味、「死んでほえ」なんて言われたら、
すごく傷つくし、すごくショックだよ。そういう言葉がどっち
たのかわからなくて聞きたいの。言い方でなくて、言葉の意味

C72 ああ

T47 ②はいい? (C なんだは切っていいんだT41の) 27の
方が対立しやすい。でも、いい言葉だからね。こうして、
残しとく。①と②ね、①と③の対立だ。

C73 71に2つにたよ。

T48 さあ、じゃあ、おちの方はあまり悲しくないよと、そういうふうに
言えない? そっちに、こういう理由で悲しくないよって。

C74 「なんかより」「だれも」の方が強い。「なんか」っておこる
ようには思ふけど。

T49 両方、おこってるんだよ。強く言ったと思うよ。たぶん。
だから両方とも、言い方は強い、それでいいと思ふ(C61)
いい方じゃなくて、傷つく。悲しくなったのは、どっち? そんな
気がするの解決しないじゃん。(C えー)

C75 「なんか」が ちがうと思ふのは、お手紙に文句言ってる
だけでかえりくんは言てないから ちがうと思ふ。(C うん)

T50 これは「(なんか)」お手紙に文句言ってるでしょ、では、
これは「(だれも)」?

C76 文句は言てない。「だれも」がついてるとだれかに言ってる
感じだから。

T51 だれかに言ってる感じがする? それは賛成? (C はい)

C77 わかった。だれもは、ここでは がまんとかえりくんか
いない。ここでは、その場で言、ちがうと、ほくた、おこる
ちがうから。

T52 言ってること分かる? (C 分かりません) じゃあ分かるように
C78 分かるように言て

C79 ①かんと②かん 2人いるじゃん。「だれも」って聞いて
ほくしかいてないって、思い込みで、悲しくなるよ。(C ああ)

△ 傷つく言葉とあって
悲しくなる言葉と
しての列でいいか。
(用意してきたが)

※ 前時、生産性の少ない
だらだらとした話し合い
をさせてしまったので、
違う方向を示唆。

△ 「おこってるなあ」
と いやな気分。
こわい気分と発見を
支えてあげたかった。
(悲しい気分にはさせ
ない。)

○ 「なんか」は
お手紙に文句、
発言を生かす。

※ 感覚的に半分は
よい方向、分からない
部分をはきりさせる。

(17:07~)

- T53 今の聞いてて問題でない？
「だれもの中に㊦はいるの、いないのか」ってことじゃない？
(Cああ) これ、だれかに言ってるけど、だれもの中のかえくんは、いると思ってるの、いないと思ってるのか、ちよとむずかしいか。
- C80 いないと思ってる。
- T54 じゃあ、ごめん。「だれも」はどんな時に使う？
- C81 だれもいないなあ、なぜだれもいないんだらう。
- T55 教室来たのは、だれもいないなあ
- C82 だれも遊んでくれないなあ
- C83 だれもさそってくれないなあ
- T56 給食の時間になりました。だれも準備をしてくれません。図工が終わりました。床にも机の上にも、ゴミがいっぱいです。でも、だれも片づけません。そうすると、だれもってだれのこと？ (Cみんな) みんなって5-6年生のこと？
- C84 そこにいる人 (Tそこにいる人だよわ)
- C85 わかった！ (Cそこ) 「だれも」の意味が分かったから、だれもはそこにいる人だから、かえくんしかそこにいないから、かえくんしかお手紙くれないんだから
- C86 ? お手紙？
- T57 だれもの中に かえくんは入っていると思う？入ってないと思う？
- C87 入っている。
- T58 だれもの中に㊦は入っていると思っただか？
O 3人
- T59 そうすると、入っていると思っただら、かえくんはどんな気持ちになる？
- C88 さびしい
- C89 ひどい

* 用意していた㊦んたい
 ㊦「だれも」はだれが入っているのか、㊦「だれも」の中にかえくんは入るのか、ここに出ると決める。
 △ 主語があいまいで伝わりず。
 △ 「いないと思ってる」のは誰か聞くべき。
 ○ この例文でも、「だれも」は教室の中や学校の中の人のことイメージできた。
 ○ 支離滅裂
 △ 主語があいまい。入っていると思っただら、かえくんであり、かえくんはそこで考えている。

(21:10~)

- C90 さびしくなる
- T60 さびしくなると 悲しいは同じ？ (Cちやう) もうちよと書いて、ほくも
- C91 仲間に入っている (T どういう仲間？)
- C92 お手紙をくれない (T お手紙をくれないという人たち?)
- C93 悪い (T 悪い、冷たい、ほくのせいで) 考えてない
- T61 人たちの中に、自分も入ってるって思っただ時、どう気持ちになるだらうね
- C94 すきいやな気持ちになった
- C95 だれもにかかります。今の聞いて、かえくんはだれもに入っているの聞いて。
 ① だんか1人 → 0人
 ② だれも2人 → 3人
- T62 じゃあ、先生①に入る。
 だってさ、みんなにお手紙ほしくしたんだよ。急に「だんか」なんて言ったら、びっくりするわね。(Cいやー)
- C96 かえくんは書いてないから、そこでかえくんは悲しくなるのはおかしいと思う。「だんか」
- T63 このことばでは悲しくならんかい。じゃあ、なんで「だれも」悲しくなるの？
- C97 そばにいる人、1、2年という3人。だれも、私の相手をしてくれないとか、全校のことじゃなくて、そばにいるのはかえくんしかいないから、かえくんが悪いって思って、かえくん、悲しくなっちゃった。
- T64 わるいなあと思っただ。(C賛成です) くわい書いて
- C98 (1年生)うーん (Tことばにしたらいい、もう一度、㊦ちゃん書いて)
- C99 だれもって 近くにいる人だから、㊦ちゃん㊦ちゃん、先生って感じたから、かえくんのそばにいるのは、かえくんだけだから、かえくんは「だれも」って言われて、ほくはだれもって悲しくなる。

△ 先の例文のせいで、誰もの意味が限定されたのではない。
 * この後、「かえくんはお手紙くれないことなんだ」とは言っていない。他の友達も合球している。そして、自分悲しんでいる仲間。お手紙くれない全員におどる。かえくんを悲しめた「だれも」を表現すべく音読で終わる。

(29:00~) <音読、はじめ全員で> <VTR② 役割読み>

○ 実践前の 実態

- ・ 1年生は、1学期から 追求らしい授業を経験してきたが、2年下の教材ゆえ、筋をつかみ音読にも時間がかかるだろう。
- ・ 2年生は、10月から共に学び始め、まだ2つ目の単元のため、追求の授業に馴れていないことを、考慮すべき。

<別紙>

お手紙 (一場面 ①~⑬ 段落) 解釈と展開に向け

<愛知 後藤ひとみ 1/11 現在>

1. 解釈

お手紙を待つと、来ないことに不幸せになり、悲しくなるがまくんは、友達からの手紙を毎日毎日待っている。希望がいつも叶わないがまくんは必ず悲しい思いをしている。(「悲しい…泣きたくなる絶望的な感じ」) しかし、かえるくんまでが悲しい気分になったのはおかしい。「かわいそう」ならわかる。(「かわいそう」…弱い立場や逆境に在る者に対して、できるなら何とか救ってあげたい。

かえるくんが かなしい気分になった原因は、その前のがまくんの言葉にある。がまくんは「だれも、ほくにお手紙なんかくれたことがないんぞ」と送リ手を非難するように言った。欲しくてたまらないお手紙に「なんか」をつけ、投げやりになさへ聞かせる。

(「だれも」… だれもかれも、全ての人)

「だれも」とは、がまくんにとっては「お手紙をくれるような友達はいない」ということである。かえるくんはがまくんを親友と思っていたし、がまくんも自分をそう思っていると思っていた。「だれも」の中には、がまくんの友達でもない人の含み、その中には、自分も含まれていることに気づき、悲しい気分になった。

そして、何より、その言葉を引き出したのは、何げなくたずねた「一度しかない」のかえるくんの言葉だった。がまくんに寄り添い、真剣に話を聞いていたのなら、「一度しかない」とたずね、傷を広げてしまうことなどしない。この時点ではかわいそうにも思っていないし、もちろん悲しい気分になってない。

2. 目標

がまくんのかなしみを理解した上で、なぜかえるくんもかなしい気分なのかを追求する。かえるくんがかなしくなった言葉をさぐりながら、親友だと思っていた自分が、お手紙を出さない全ての人と同じだと非難されたと思い、かなしくなった理由が分かる。